

久美浜学園保幼小中一貫教育だより

くみはまこういゅうかぶと山



久美浜学園保幼小中一貫教育

久美浜学園ホームページ：各学校園所の様子を掲載
「久美浜学園保幼小中一貫教育」で検索、スマホでも閲覧可能

久美浜学園事務局R6.6.7.No.2
(☎82-0079(久美浜中内))

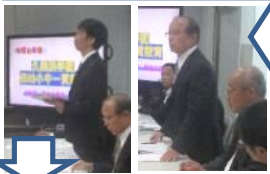
第1回学校運営協議会5/21開催

第1回学校運営協議会を開催しました。

本協議会の目的は、「学校・保護者・地域住民等が相互に密接に連携し、一体となって学校運営の改善及び地域の特色を生かした学校づくりを進め、乳幼児及び児童生徒の健全育成に取り組むこと」です。区長会をはじめ同窓会、公民館連絡協議会、民生児童委員、見守り隊、土曜遊び教室など、地域の様々な団体の方に集まっていたいて、協議をしていただいています。

第1回目は、協議会の会則を確認した後、協議会の運営方針、学園、学校園所の基本方針を承認していただきました。その後、短い時間でしたが、各部会での意見交流をしました。

全体協議



(協議会長あいさつ) 本協議会は、学校と地域社会が連携を強め、地域が学校教育を「応援団」として積極的に支援し、よりよい地域の教育環境づくりをし、子どもが健全に育つようにすることを目的としている。登下校の見守り、土曜遊び教室、グストティーチャー、環境整備など、目に見える活動が行われている。深いところでは、学校と地域・団体をつなぎ、活動を活性化させること、学校の困りごとや危機的なことがあったとき一緒に解決していける関係づくりをすることがあげられる。今年度も、それぞれの立場から、本会の活動にご尽力、ご協力を賜りたい。

(学園長あいさつ) コロナ5類への移行でやっと正常な活動に戻った。PTAや地域との協働的な活動もできるようになった。世の中の状況も課題も大きく変わった。学力向上や不登校児童生徒対応も学校だけでなく地域や行政、関係機関が総がかりで取り組まないと解決の糸口が見えない。協議会の皆さんには、学園の基本方針の承認をいただき、新たな課題に立ち向かう知恵と元気をいただきたい。京丹後式コミュニティスクールである「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の展開による地域と一体となった教育活動を目指していく。また、「地域とともにあるために何をすればよいか」を模索していきたい。

部会別協議



○地域活動部⇒・(活性化)来年度から区長会と統合され「久美浜町地域運営協議会」となる予定で、見方を変えると役割を終え発展的解消ということになる。・(文化協会)今年は文化祭の年、展示や発表してもらえ方を募集している。子どもたちの書道とか絵画も募集するので協力をお願いしたい。・(土曜お楽しみ会)コロナで4年間活動できなかったが、今年は実行委員会で作成計画を作り、PTA総会に出した。25日から始める。・(チャレンジ教室)昨年は20回延べ200人で実施。基本的には毎週土曜日の午前中にやり6月から始める。・(二区こども広場)最近少し傾向が変わり保育所の子が保護者と一緒に参加するようになり小学生が助けている。昨年20名超えることがあったり数人の時があったりで、何が子どもにいいのかわからない実行委員会も四苦八苦して内容づくりをしている。・(高龍小)このとりの雛に足輪をつける作業の時に声をかけてもらい子どもが見学した。ちょっと声をかけてもらおうと学校の中でできないよい体験ができてありがたい。

○安心安全部⇒・(高龍小見守り隊)学校手前の四差路で活動しているが、小学校前の道路は、車の速度が速い。地域からの要望がないので速度制限がかけられないそうだ。子どもたちはだいたいあいさつをしてくれるようになり、朝気持ちよく見守りをしている。・(久美浜小見守り隊)こちらから大きな声であいさつを言うようにしたら、やっと目を向けて笑ってくれるようになった。横断歩道に立っているが危険なこともある。スピードを出すとか通勤時間でショートカットをしたら。警察に言っても取り締まりはできないそうだ。雪道はさらに大変。旗を持ってしばらくついて行ったこともある。・(自治会見守り隊)生活安全部の事業として登下校ボランティア9名おられる。学校も加え2か月に1回の会議をしている。府警から自動車に貼るステッカーをもらい啓発活動に取り組む。

○学校評価部⇒・(評議員)不登校の問題で課題が見えるが、どのように地域としてもサポートできるかその視点で今年1年見ていきたい。・(評議員)私の地区はバス通学でいつも元気に通っていてあいさつもしてくれるのでうれしく思っている。ICTタブレットが活用され今までとは違った学習、学びができると思う。自主的に学ぶこと意見交換ができることが大切だと考えている。・(評議員)学校で地域のことを深く学ぶことをたくさんやっていただいている。地域で物を作っておられるところとか歴史的文化的な場所に訪れることが学びを増やし、自分の地域に誇りを持つことや地域を愛する心の醸成につながっている。・(評議員)昨年の中3生は自分で考え自分で発信できるすごい3年生だったので、今年は大丈夫かと少し心配だったが春季大会の結果を聞いて安心した。合唱祭もあるので、どんなリードをしてくれるか期待している。

小学校運動会（5/25かぶと山小・久美浜小）

開会式で選手宣誓



低学年全員リレー



児童会種目は台風の子



（久美浜小学校）児童会スローガン「つき進め！全員主役だ！みんな笑顔で楽しもう！」のもと、練習に励みすばらしい運動会を創り上げました。PTA親子種目は、午後開催し、親子で競技を楽しみました。



（かぶと山小学校）児童会スローガン「つながり～信頼、協力、安心～」に向かって、5・6年生が中心になり、低学年に優しく教え声をかけ練習を進めました。子どもたちのつながりが深まった取組となりました。

地域の取組に参加（陶芸教室、ヤマメの放流、吹奏楽部の演奏）

ろくろで形を作ります。



色をつけます。これで作業は完了です。



（土曜お楽しみ会）5/25に陶芸教室を実施しました。親子での申し込みも多数あり、午前の部と午後の部に分けて行いました。粘土に向き合って一生懸命に器を作りました。土曜お楽しみ会は4年ぶりに復活です。



（佐濃自治会・こうりゅう虹こども園）佐濃自治会のヤマメの放流にこうりゅう虹こども園の5歳が参加しました。佐濃谷川の上流の奥山のもっと上の方で放流しました。400匹のヤマメが川を元気に泳いでいきました。



（久美浜中吹奏楽部）「湾博」に出演しました。たくさんの人の前で「炎と森のカーニバル」他全5曲を演奏しました。